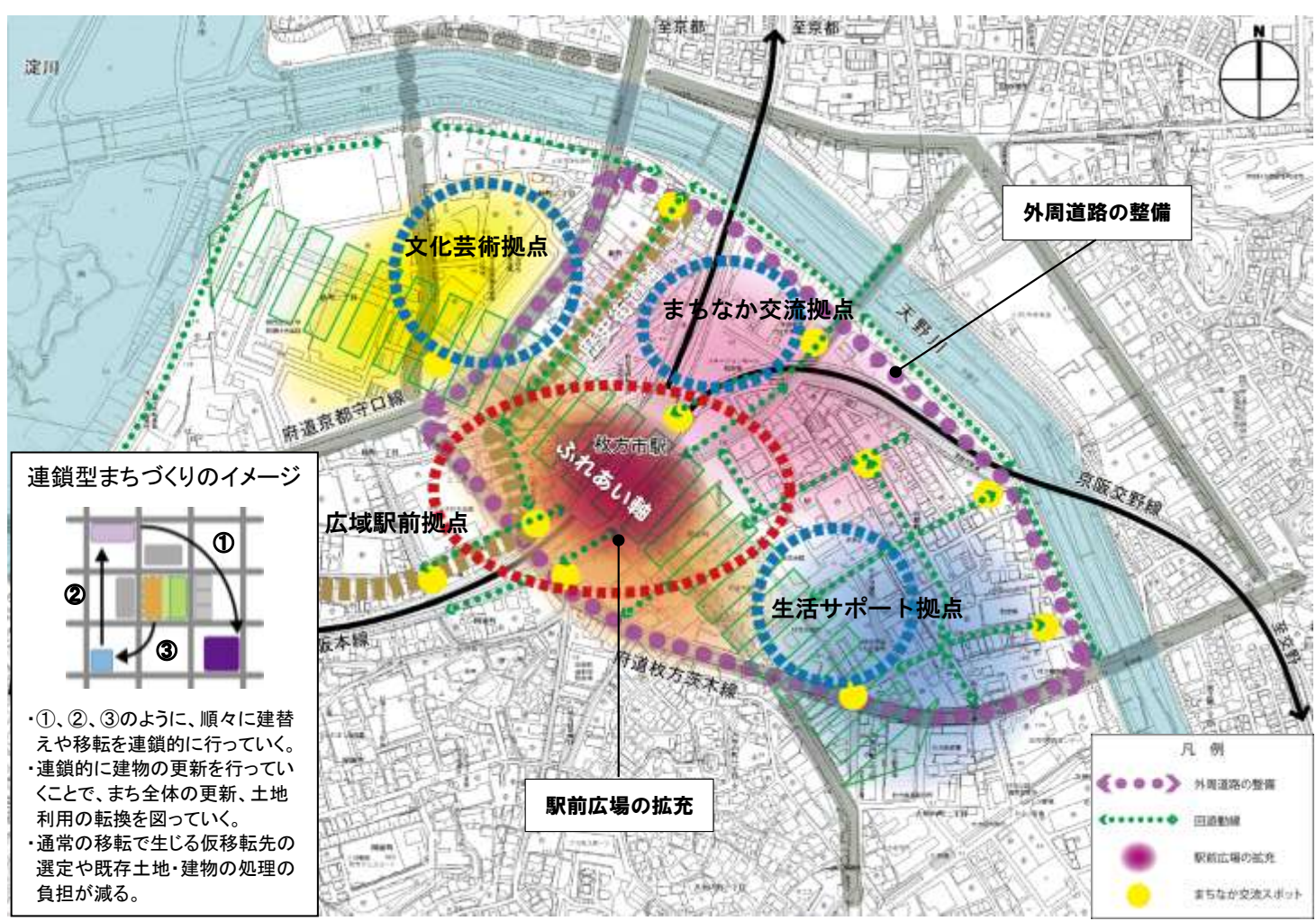
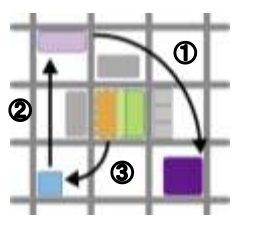


ビジョンのイメージとまちづくりの取り組み



連鎖型まちづくりのイメージ



①、②、③のように、順々に建替えや移転を連鎖的に行っていく。
 ・連鎖的に建物の更新を行っていくことで、まち全体の更新、土地利用の転換を図っていく。
 ・通常の移転で生じる仮移転先の選定や既存土地・建物の処理の負担が減る。

<p>(1)拠点形成と連鎖型によるまちづくり</p> <p>○既存の拠点（広域駅前拠点）の強化と新たな3つの拠点（文化芸術拠点・まちなか交流拠点・生活サポート拠点）の形成による、まち全体のゆとり創出と回遊性の向上による賑わいづくり</p> <p>○総合文化施設の整備を契機とした、連鎖型のまちづくり</p>	<p>(2)ゾーニングの設定</p> <p>○拠点形成と連鎖型のまちづくりの実現に向けたゾーニングの設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 医療・福祉、文化芸術ゾーン ● 商業・業務ゾーン ● 居住・商業・業務ゾーン ● 公共・業務ゾーン 	<p>(3)交通環境の改善</p> <p>○まちへのアクセスや地域内での移動円滑化に向けた交通環境の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅前広場の整備 ・歩行者・自転車動線の整備 ・外周道路の整備 ・アクセス道路の整備 ・情報発信の強化による交通円滑化
<p>(4)快適な空間の創出と環境負荷の軽減</p> <p>○まちに集う人の心のゆとりを生み出す快適な空間の創出と景観に配慮した緑豊かなまちの形成</p> <p>○低炭素まちづくりを推進する環境側面からの取り組みの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広場等のオープンスペースの整備 ・緑の空間の整備 ・エネルギー利用の効率化 	<p>(5)安全・安心への導き</p> <p>○防災</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちのリニューアルにあわせた災害に強いまちの形成 ・都市型水害の被害軽減に向けた取り組みの推進 <p>○防犯</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域における問題意識の共有、防犯活動に参加できるシステムの構築 ・都市居住の促進、夜間人口の増加による防犯レベルの向上 	<p>(6)地域資源や地域活動の活用</p> <p>○魅力ある地域資源の保全・活用による枚方らしさの創出</p> <p>○地域が一体となった様々な活動が継続的かつ活発に行える環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生の交流の場づくり ・イベント活動の場の整備 ・まちの情報発信の促進

枚方市駅周辺再整備ビジョン

—概要版—



■枚方市駅周辺地域の再整備の必要性

枚方市駅周辺地域は、行政サービス機能、商業・業務機能等が集積する本市の中心市街地であり、鉄道や路線バスの乗降客数の多さからも府内有数の交通結節点として本市の中核機能を担っています。また、この地域には淀川や枚方宿等の自然歴史資源や、大学、文化・医療施設、活発な市民活動等、魅力ある地域の資源が多く存在しています。

しかし、これらの都市機能や地域資源が、必ずしもまちの賑わいや商業の活性化に活かされているとは言えず、通過交通による駅前広場の交通混雑、周辺施設の老朽化等といった様々な問題も生じています。さらに、少子高齢化等の社会環境の変化や多様化する市民ニーズにも対応していく必要があります。

これらの様々な課題やこれからの時代に対応したまちづくりを実現するために、この地域の特性を活かしつつ、本市の中心市街地として、魅力あふれる賑わいのあるまちの構築をめざす再整備が必要です。

■ビジョン策定の目的

再整備にあたっては、建物や道路、公園を個別に整備するのではなく、地域全体を総合的にとらえ、地域に関わる人々が魅力あふれる賑わいのあるまちの構築をめざし、実現化を図ることを目的に、このビジョンを策定しました。

平成25年3月

枚方市

将来像

○基本コンセプト

～再発進 ひらかた
人が主役のゆとりと賑わいのまちへ～

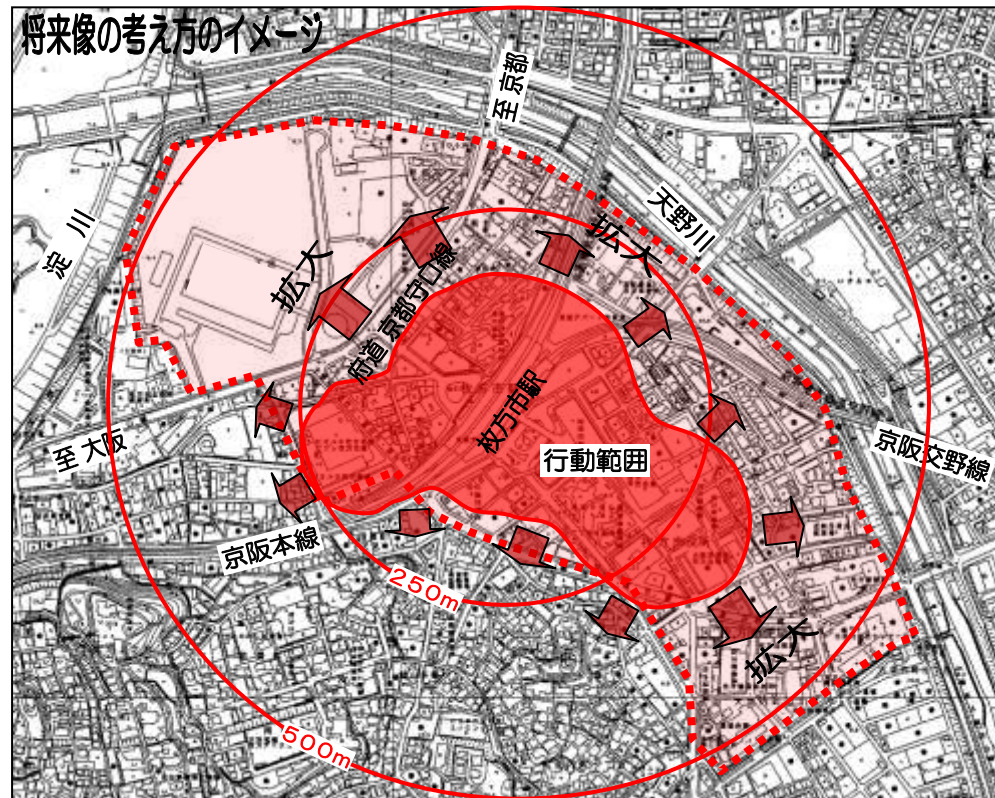
○将来像の考え方

人を中心としたまちづくりをめざし、商業、業務、行政機能等が集積している駅前広場周辺や市役所付近に集中している現在の人々の行動範囲を広げることによって、まち全体に「ゆとり」を創出することが重要と考えます。

(人々の行動範囲)
駅前広場周辺、市役所付近に集中

行動範囲の拡大

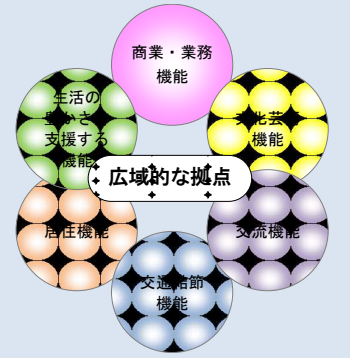
まち全体に
「ゆとり」を創出



まちづくりの方向性

(1) 広域的な拠点としての機能の更新・充実

- 北河内地区における広域的な拠点として、行政施設等の更新、生活の豊かさを支援する機能といった新たな機能の導入・充実によるまち全体のリニューアルの促進
- 新町2丁目地区における、新たな都市機能と既存の都市機能の複合・融合による広域的な交流拠点としての充実
- 低未利用地等の有効活用による居住機能など市民生活に必要な都市機能の充実



(2) 社会環境や市民ニーズに対応した多様な都市機能の集積・強化

- 生活の豊かさや暮らしの質の向上に寄与する多様な都市機能の集積・強化及び、総合的な経済活力の向上
- 建物の連鎖的な更新により、都市居住への立地を促進するとともに、未来を見据えた低炭素まちづくりを進め、緑化推進等の景観に配慮した快適な都市空間の整備
- まち全体を境界性のあるモールととらえ、店舗・レストラン・宿泊施設等による活性化や賑わいの連続性の創出、ゆとりの空間の導入とあわせた回遊性の向上
- 建物の更新やゆとりの空間、外周道路の整備等による災害に強いまちの形成



(3) 人々の活動や交流を促進する交通基盤のネットワーク展開

- 回遊性の向上や人々の交流に寄与する、景観に配慮した環境空間の整備、誰もが安心して利用できるまちの創出
- 外周道路網の形成による地域周辺の交通環境の向上、地域内への車両の進入の抑制
- 時代の変化に対応した駅前広場機能の強化と交通結節点として乗り換え利便性の向上とともに、駅前広場における通過車両の抑制等による交通動線の円滑化



(4) 地域資源と文化芸術活動を活かした枚方らしさの創出

- まちの魅力づくりへの、枚方宿や淀川等地域資源の活用
- 枚方市内6大学の学生の日常的な交流、活動等による、学生のまち枚方として若者が集うまちづくりの推進
- 文化芸術の拠点となる総合文化施設の整備による市民の文化芸術活動の活発化
- 枚方らしさの情報発信による都市の魅力の向上

